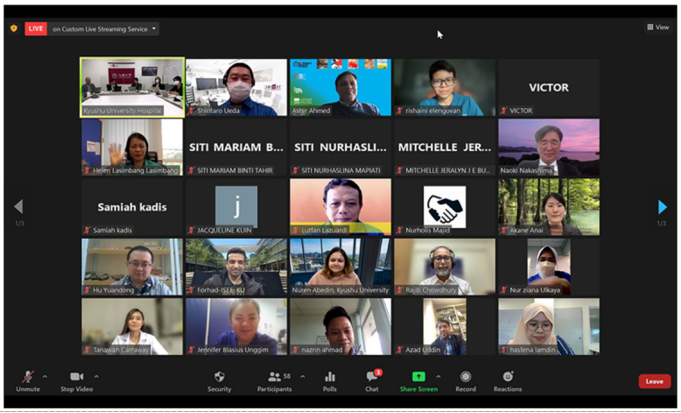
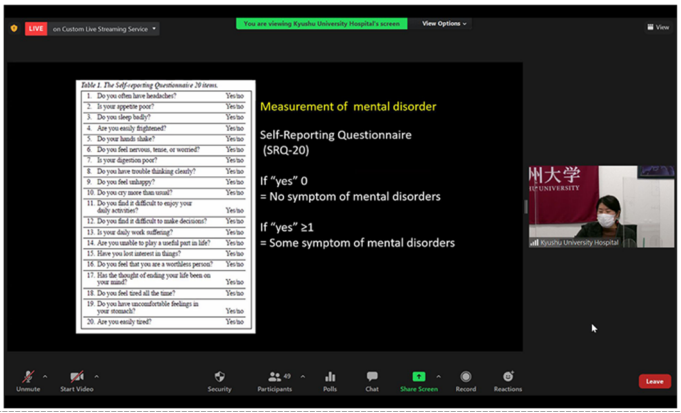
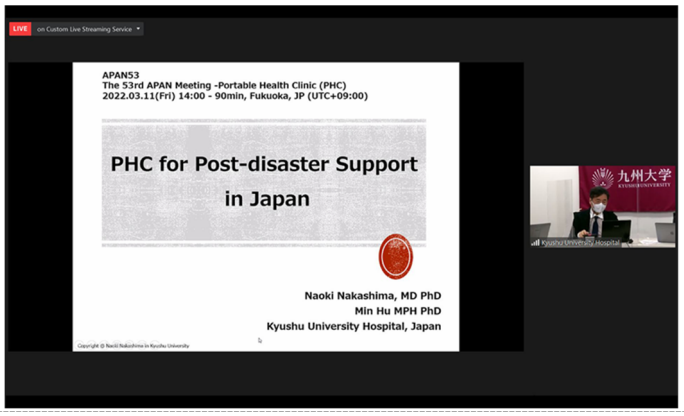
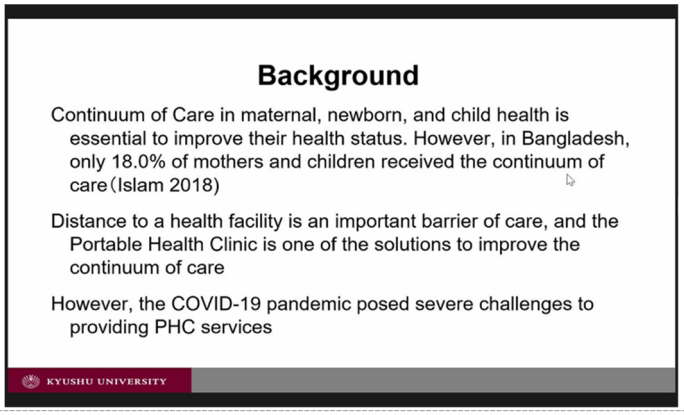
#1528 2022.03.11	第53回 APAN会議 ポータブルヘルスクリニック

【参　加　施　設】	【概　要】
九州大学病院（日本), 九州大学 伊都キャンパス（日本), グラミン・コミュニーションズ（バングラデシュ), 貴州省疾病予防管理センター（中国), ビヤニ大学（インド), ガジャ・マダ大学（インドネシア), マレーシアサバ大学（マレーシア), アジア工科大学院（タイ）	今回のセッションは「アジアの僻地における遠隔医療サービス・PHCの現状と可能性」のタイトルで開催され、バングラデシュからMCHケア、マレーシアからNCDのアウトリーチプログラム、インドネシアから地域密着型精神保健医療サービスの発表があった。また、PHCが被災地でいかに便利であるかが発表された。PHCプロジェクトの全参加者がこのシステムの可能性と現地実装の挑戦について理解することができた。
	
モニタに映し出される接続施設。 撮影場所：九州大学病院	掲示されたスライド。 撮影場所：九州大学病院
	
掲示されたスライド。 撮影場所：九州大学病院	掲示されたスライド。 撮影場所：九州大学病院
	
九州大学病院の様子。 撮影場所：九州大学病院	掲示されたスライド。 撮影場所：九州大学病院